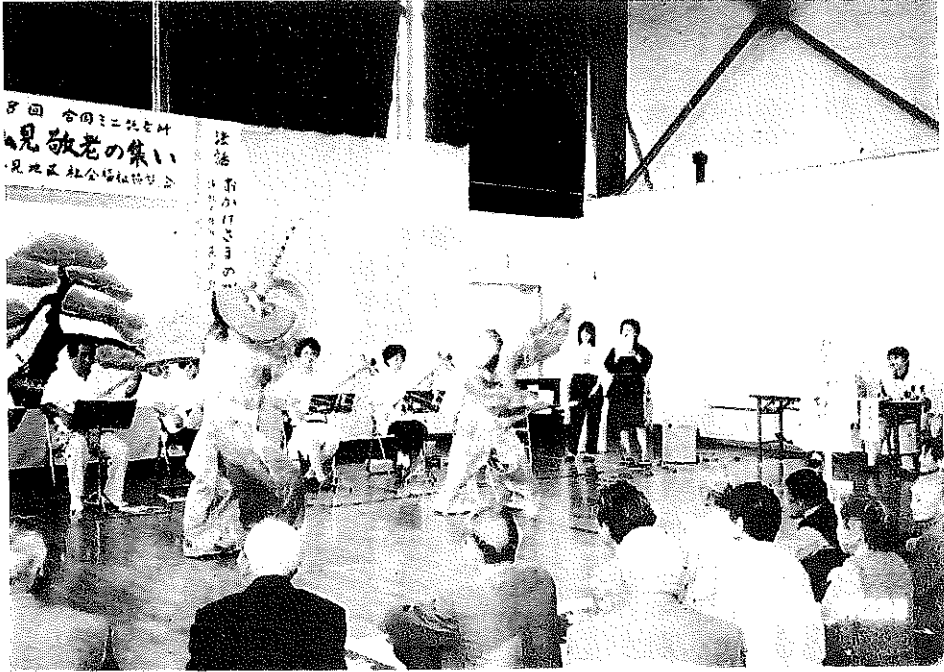


# 福祉のかけ橋

平成10年12月号 第18号



敬老の集いの余興

ふれあいの尊さ

民生委員 田村一子

地域福祉の増進に努める民生委員の一人として、活動を始めて六年になります。この間の活動に母子父子家庭、一人暮らし老人家庭等の訪問があります。

私の担当区をまわりますと、共に考え話し込むこともしばしばですが話すうちにいつも出合いの尊さを教えられます。この気持ちにさせて下さるのは、常に私と心をひらき信頼して下さるお陰と感謝しています。

今年も、合同ミニ託老所敬老の集いの招待者は、八〇才以上の方々でしたが、とてもお元気で、お友達との久しぶりの出合いに感動され、積もる話に夢中のご様子を目の当りにし、出合いの大切さを改めて痛感しました。

これからも、友情を暖めあう機会をより多く設け、皆さんに喜んでいただけるよう努めたいと思います。

## 花鉢を育てて

団地 清原ケサ 七六才

まわりの山々は紅葉して奇麗になりますと、冬の近づいていることを知らせているようです。

春のころ、ポランティアの方が贈って下さった花鉢の蕾が大きくなって、いつ咲くかなあと楽しみにしていたとき、誰かのいたずらで花も鉢もめっちゃめにされて、もう止めてしまいたい気持ちになりました。そのとき、お隣さんへ行ってみたら大きく蕾が膨らんでいました。それを見て私に育てるご縁がなかったのだなあと、あきらめられました。

実家の新潟へ行ったら、兄貴も大きなあの花を咲かせているのを見て、羨ましく思い、しみじみ眺めてきました。ピンクの花が見事でした。

この花の名が思い出す一時間ほどかけて「シャクナゲ」だったと分かりほっとしました。ご縁があ

れば来年こそ大事に育てたいと思います。

~~~~~



## 八乙女福祉カレッジ

熱心に受講される

地域にふさわしいこれからの福祉を推進するため、次のとおり開講しました。

第一回 幼時から豊かな心を

6/28 南山見公民館

講師 井波小学校長 岡部忠夫氏

子供を取り巻く環境の変化が激しく、少子化現象もあって予期せぬ様々な出来事が発生するようになった。

家庭も地域も一度足元から見直さねばならなくなっている。

第二回 八乙女山と屋敷林

7/25 南山見公民館

講師 小矢部高校元校長和田健氏

福野高校の栃原学校林が在ったことや校歌に八乙女山が歌い込まれていたの親しみをもって眺めて来たこと。

山の恵みは計り知れない大きなもので、水は新鮮で汚れない、空気も清浄である。屋敷林に囲まれ緑満喫の生活の貴さをまず大切にしなければならぬ。

第三回 地名や放言に刻まれた

ふるりの歴史 8/19

講師 文化財保護委員長

千秋謙治氏

故郷は、私達の祖先がたゆまぬ努力と汗によって築かれたものである。

どの地名にも一言の放言にも、貴い足跡と歴史が刻まれていることを重く受けとめ、新しい時代に向け、地域文化の発展につながるよう、深い関心を持ちたいものである。

南山見地区社協創立  
十周年年誌誌発刊

地区の皆様のご支援と、町ご当局のご指導のおかげで、地区社協を昭和六二年に結成して十周年を迎えました。この度、皆様のご協力で記念誌を発刊することができ深く感謝致しております。

さて、地域の福祉活動は、住民が不安のない心豊かな暮らしを求めて、お互いの思いやりで善意を寄せ合い助け合う、誰にも出来る単純な活動であると思います。

近年、福祉事業は年々充実強化されて来たとはいえ、目まぐるしい社会の進展に伴い弱者保護から自立更生、相互支援の福祉へとうつり、今や「福祉はすべての人のために」と、大きな変貌が窺われます。こうした課題にきめ細かく対応出来る福祉こそ、住みよい町づくりの一步かと思えます。いつそうの、ご指導とご支援の程お願い申し上げます。

平成10年度  
南山見地区社協事業と予算

◇ 収支予算

収入

| 科目  | 金額 円    | 付記              |
|-----|---------|-----------------|
| 会費  | 160,000 | 一般130千<br>役員 30 |
| 補助金 | 530,000 | 町県・社協           |
| 寄付金 | 10,000  | 一般寄付            |
| 繰越金 | 37,783  |                 |
| 雑収入 | 29,217  |                 |
| 計   | 767,000 |                 |

支出

| 科目  | 金額 円    | 付記                                |
|-----|---------|-----------------------------------|
| 会議費 | 10,000  | 諸会議                               |
| 事務費 | 30,000  | 需要費・役務費                           |
| 事業費 | 690,000 | 地域福祉 260,千<br>参加型 310,<br>育成 120, |
| 負担金 | 10,000  |                                   |
| 諸費  | 27,000  |                                   |
| 計   | 767,000 |                                   |

収支残金なし

◇ 主な事業

1 地域福祉活動事業

広報「福祉のかけ橋」発行

高齢者の慰問・激励

一人暮らし老人友愛訪問

2 参加型福祉社会推進事業

先進地福祉事業視察

一人暮らし老人会食サービス

ミニ託老所指導育成

ボランティアもう一人運動

環境美化活動推進

病障者在宅介護者研修会

3 福祉活動育成事業

公民館主催「3世代交流の集い」に参加

ボランティア活動の推進

ケース検討会(住民ニーズ)

3 福祉活動育成事業

八乙女カレッジの開催

ミニ託老所世話方研修会実施

交通安全マスケット作り

マスケットで  
交通中女△主呼びかけ

知る葉グループ 須川ユキエ  
春秋の交通安全週間に備えて、  
マスケット作りを楽しむグループ  
です。いつもどんな物にしたら良  
いか悩みますが、出来上がると喜  
びが何倍にも膨らみます。

秋の交通安全週間中の、九月二  
八日農協南山見支店前で井波警察  
署の指揮のもとで、通行する自動  
車を止めてもらい「気を付けて運  
転してね」と、ポランティアで精  
魂込めて作った貝のマスケットと  
パンフレット、それに事故無しを  
願った「梨」を添え、安全運転を  
みんなで呼びかけました。  
たちまちの内に一〇〇個のマス  
ケットはなくなりました。しばら  
くの呼びかけでしたが、ドライバ  
ーさんらのお元気な顔、警察の方  
や安全協会の方たちとのふれあい  
など楽しいひとときでした。



單車にも安全呼びかけ

井波町健康と福祉の祭典  
福祉功労者表彰

住民の健康と福祉をかか  
「98、健康と福祉の祭典が」十  
月十七・十八日の両日にわたり、  
町福祉センターにおいて開催され  
ました。

十八日には式典が行われ、社会  
福祉あるいは老人クラブ活動、ボ  
ランティア活動、保健衛生など多  
年にわたり社会貢献された方々の

表彰が行われました。当地区から  
は、地域福祉の発展にご貢献され  
た次の方が受賞されました。

◎町社協会長表彰

山本綾子 (谷)

岩崎保子 (今里)

林みつ子 (東城寺)

◎町ポランティア会長表彰

皇 和子 川原崎

◎町保健衛生協議会長表彰

山崎鈴江 (川原崎)

あとがき

南山見地区の数え八〇才以上の  
お年寄りは、九月一日現在で九〇  
名でした。平成二年と比べますと  
三六名の増加でした。

|     |                      |
|-----|----------------------|
| 号数  | 第一八号                 |
| 発行  | 平成十年十二月              |
| 所在  | 富山県井波町川原崎<br>南山見公民管内 |
| 発行者 | 南山見地区社協              |

◎読んだら綴りましょう